

## テーマ『家庭学習』

令和2年9月19日(土) 9:00-9:50 図書室にて

参加者 保護者9名

川中子 おはようございます。今日は、9月の初めての土曜授業日ですが、今日は「家庭学習」のことについて話をしたいと思います。7月に第1回目の語らいサロンを行ったとき、コロナのことについて話したんですが、その時も**休校中の家庭学習のことが大きな話題になりました**。それから、**家庭学習の考え方が変わってきている、そして変わらなければならない実態になってきております**。学校でも、家庭学習をこれからどのように進めていくべきかということを考え直さなければならぬと思っています。簡単に言うと、宿題、ですね。**宿題をどう出すか。効果的な学習になるようにしたいです**。と言うわけで、今日は家庭学習についていろいろと話せたらと思いますので、率直なご意見をお聞かせいただければ幸いです。今日は本校のO先生にも参加してもらいます。O先生は本校の主幹教諭、と言って、先生たちの長として活躍していただいています。特に今年は学力向上を中心にやっていただいているんですが、**今年はコロナの関係で休校になった時、保護者の皆様にもご協力いただいて週ごとの教材の交換のシステムを構築した先生で、あのシステムがその後、墨田区内のすべての学校に取り入れられると言う、区内全体の家庭学習についての功労者です**。今日は、こちらにレジュメも用意してありますが、現在の三吾小の家庭学習の状況などについても話していただく予定です。

それでは、まず今日お集まりの皆さんに自己紹介をお願いしたいと思います。その際、お子さんがおうちでちゃんと勉強しているか、という話はまた後にすることにして、ご自分が子供の頃家庭学習をやっていたかどうかなんて言うエピソードを交えながら、お子さんの学年やお名前をお話しいただけたらと思います。よろしいでしょうか。それでは、こちらからお願します。

Aさん 1年生の子がいます。親も子ども小学校が初めてで、コロナになってしまったので、何もわからないと言う感じだったので、こう言った機会があると聞いて参加させてもらいました。私が子供の頃は、家庭学習をしていたかとか母親に教えてもらっていたと言う記憶があまりなくて、今の子供たちの現状とか、子供たちの置かれている状況なんかについて教えていただけたら嬉しいなと思って参加させていただきます。よろしくお願します。

Bさん 3年生の子がいます。うちの子もやっぱり勉強するのが嫌いで、男の子が二人生まれてしまいました。女の子は何となく、旦那さんについていけば生きていけると思うんですが、男の子は養っていかなければと言う責任が生まれた時からあると思って、すごく「**勉強しなさい**」**と言ってしまっている**母親なんですけど。中学1年生にもいるんですが、二人とも勉強の方には全く振り向いてくれなくて、家庭学習という親が教えるってことになるので、自分が習ったことと違うことを教えるのは難しくって、やっぱり勉強は先生が教えてくれるのと親が教えるのでは全く違うので、どうやって親が教えられるのか知りたいなと思います。

Cさん 3年生の子がいます。自分は小学校も中学校も高校も勉強はあまり熱心にやらずに自由に遊んでいた方でした。子供が生まれて、家庭学習が必要だと言われていたんですが、やはり勉強しなさいと言うんです。上にも中1のお姉ちゃんがいるんですが、女の子は言えば素直にやってくれるんですね。だから、ほっといてじゃないんですけど、任せてやってましたけど、下の子は男の子なので**言われたことしかやらない**。先生に出された分はやるんですけど、トッピング学習、自主学習と言いますか。出されていないものは、頑固に怒ってしまったり。なかなか自分からやりたい、やりたいとは言わないので、その辺がちょっと難しいです。その辺を**先生からもっと言っていただけたらと思います**。それと、休校中に漢字が課題で出されていましたが、隣で見ていたら書き順とかがバラバラで、私もよくわからないので携帯で調べたりして教えたんですが、どうしたらいいのかなと思って。私たちが教えられればできるんですけど、私たちが見放してしまったり何もできない。この先どうすれば良いのかなって思います。

Dさん 3年生と5年生に子供がいます。私が小学生の頃は学校から宿題が出るのがほとんどなく、放課後は帰りのチャイムが鳴るまでずっと遊んでいてよかったですし、家に帰っても友達と遊びに行ったり。田舎だったので自転車に乗って遊びに行ったりどこまででも出かけて行って暗くなるまで遊んでいると言う生活をしていました。今日は語らいサロン、初めてなんですが、よろしくお願します。

Eさん 1年生の子供がいます。今朝、旗当番をしていたらIさんに「語らいサロン行かないんですか?」って言われて、今日きてみました。テーマもさっき知ったんですけど。私が小学生の時は、宿題はしていましたが、それ以外は勉強ってあまりしてないんですけど、でも**最近の小学生の話やると、みんな塾に行くと言う話を聞いて、ああ、塾に行かないといけないのかな?**と、思いながら。まだ1年生なので、宿題だけやってればいいよって言うてるんですけど。この先どうなるんだろうかと思っております。よろしくお願します。

Fさん 1年生に子供がいます。前回は語らいサロンに参加させていただいて、今回も楽しみにしていました。いつも校長先生はじめ先生方には感謝しています。私の子供時代は、みなさんと同じで、宿題とかやった記憶も出された記憶もちょっとなくて。ひたすら遊んでいたと言う記憶しかなくて。でも、すごく心に残っているのが、**小学校5年生、6年生の時の先生が、自主学習ノートというのを作っていて、一人1冊ずつ持っていて、何を何ページやってもいいし、毎日…、毎日出すのだったかどうかの記憶は定かではないのですが、やったものを書いて出すというのがありました**。それだけはすごくよく覚えていて。一生懸命やる子は、毎日何ページもやってきていて、勉強をやっている子もいれば、何か漫画みたいのを書いている子もいれば、先生へのお手紙みたいのを書く子もいれば、いろんなことをやっていた記憶があ

って。それだけ心に残っているもので、そのような制度はどうかなくなって思っています。今日も楽しみにしています。よろしくお願します。

Gさん 3年生に子供がいます。今の子は末っ子なので、やはり、大きくなるにつれ、**何事も自主的にやらないと。自分で目標を決めて**。何を言ってもどうなるものでもないなというのをすごく感じていて。やっぱり、低学年のうちに、学習の習慣がついてくれればいいなというふうには思っているんですけど。時代的にも、**だんだん、求められる人材とかも変わってきていると思うので、改めてお聞きしたいなと思って参加させていただきました**。自分は宿題と、やっぱりテスト前くらいしか勉強していませんでした。よろしくお願します。

Hさん 3年と5年に子供がいます。よろしくお願します。私は小・中とほとんど勉強しなくてですね、高校受験で5校中3校失敗しまして、4番目の高校に入ったんですが。そこの高校は勉強させる学校、進学を目指した学校だったので、無理やり勉強させられて。勉強の楽しさはわからなくて厳しかったです。それで、大学の3年くらいになって図書館に通うようになって、そこでようやく**勉強って面白いなと気づいた**感じで。子供たちには**早くそういうのを気づかせてあげたいなと思っています**。よろしくお願します。

川中子 はい、どうもありがとうございました。私は、3年生か4年生くらいに親に塾に行けと言われて行ったのですが、ぜんぜん面白くなく、真面目にはやりませんでした。5年生になったらやたらと厳しい担任の先生になって宿題もものすごくたくさん出るから、塾の先生から、あの担任なら塾を辞めたほうがいいかもしれないと言われたので、ヤッ!と言ってやめました。その後、6年中1になってからか、また別の塾に行くようになりました。みなさんも言われていたんですが、塾には行っていましたが、宿題が出たという記憶もあまりないですし、自分から勉強したなんてことは全くありませんでした。まあ、**宿題ってそういう記憶にも残らないようなものなのかな**って。今お話にありました、自主学習なんてすごくいいですね。それでは、O先生にもお話ししていただいて、続けて本校の今の現状について、資料なども見ながらお話ししていただけたらなと思います。

O先生 はい。先程、過分な紹介をいただきまして。えー、私が何か喋ると、**正解があるんじゃないかっていうふうに思われてしまうかもしれないせんが、本当にこの話題は困ったなあと思っているものなんです**。自分自身も、小学生の頃は宿題はほとんど出なかった時代なので、家で勉強した覚えもほとんどないし、中学生の頃は、試験前にちょっと振り返ったかなというくらいで、授業をしっかり聞いていれば大丈夫という感覚しかなかった。仕事に就いて、宿題、宿題と言わざるを得ないという状況になって。そして、出してみると、**こっちのお母さんは「多いのでなんとかしてください!」**と言って、**こっちのお母さんは「少ないのでなんとかしてください!」**とか言って、ふざけんな!って思ったりして、結局正解なんてないんじゃないかと。宿題はこうあるべきだなんて言えないし。自分のせがれは18になるんで、高3で。40の時にできた息子で一人息子なんで、それなりに一緒にはやってきたつもりなんだけど、まあ、その仕上がりを見ると…。今さら、もうちょっとさせておけばよかったかなとも思うんですけど、今になったらどう自分が諦めるかって。自分にできることとお金出してやることくらいなので、あとは自分でやれって思うんだけど。自分は親には、お金出してくれれば自分でやると思っていたので。そう望むんだけど、今の18になってきたくらいにしか自分でもできないだろうし、親が手を出してできたとしてもそれはその子のためにはならないんじゃないかなと思うんです。

宿題を、一体何のためにするのかって言うのと、今回休校で3ヶ月も学校が閉じると言うことになって、ぐるぐる回すシステムを作ったりしたんですが。夏休みの前みたいにきちんと準備をしていたわけでもなかったんで、3月の時に1ヶ月分と言ってポーンと放り出された、何のフィードバックもない状況で、これはきつうまく行かないな、子供たちがうちですつとゲームしてるだけだようになって、息子を見ているも思っている。やっぱり、**先生たちのフィードバックがないと、学習しているのは成り立たないんだと言うことで、あの家庭学習のシステムを一つの方法として作って**。まあ、いろいろデジタルとか使ったと言うと、うちはネット環境がないからどうするんだと言うことになるので、とにかくアナログでいいから、できることから始めようと言うことで始めました。まあ、よく協力していただいて、何とか持ちこたえたかな。皆さんが大変だとは思ったんですけど。先生たちもあれが一度にガーンと戻ってきて、次の課題も出すと言うのは、結構キツかったんですけど。みんな本当に頑張ったなあ、と。完璧ではなかったかもしれないけれど、三吾の、一つの形としてやれたのはよかったなと思っています。先生たちと、保護者と、子供たちがいたからできたんだなあ、それは、感謝しています。

それじゃ、普通の宿題ってこれからどうするか。まあ、休校があって授業時数が足りないとか、何とか足りるとか。土曜授業があって、夏休みを短くしたりして何とかやりくりしているんですが。学力的に、やはり3ヶ月のダメージってどうか…。それは感じます。やっぱり、その…。うーん、「格差」何ですよ。ある程度保てた子と保てなかった子と。それは本人の力にもよるし、家庭の状況にもよる。あとでちょっと話しますが、宿題の効果があるかないかってこともやはり「格差」があるんですね。自分が課題のある子供たちをどうやって引き上げるかって言う時、家庭にどれだけ委ねるかって言うより、自分で何とかするって考えていたので。家庭学習はそんなに重要に考えてなくて、とりあえず学校で何とかしようって言う感覚だったんですけど、こう言う状況になったので、家庭学習についても少し考えなければならなくなってきたんだなと思います。

宿題は何のために出すのか。学校では、**一つのことをわかるまで教えるってことになる**と厳しいですね。そのためには残したりして頑張るってやるんですけど。解っても忘れるんですね。**解っても忘れる**。ああ、今日はよくできた!と言って、土日挟んで月曜日になったら全部忘れていたって言うこともよくあるので、その繰り返しだと。でもそれを繰り返していても何回やっても出て行ってしまおうので、習

熟とか定着といった意味合いで、**できるようになったことを、ちょっと時間を置いて繰り返してみても、できたと言うことになると、短期の記憶が少し長期の記憶になってきたかな**、って言う感じですか。そう言う効果を狙って宿題って言うのは出さず。例えば授業の中で漢字の練習で、何回も書いて言うことも、それがいいのか悪いのか。個人差があるし、書かないと覚えられない子もいるし、また違う方法で、書けば書くほどわからなくなる子もいるし。まあ、それでも漢字を何回書きましょう、計算を何題解きましょう、と言うのがトラディショナルな宿題のやり方。個別には、うちの子にはあってない、って言うこともあります。それはそれで個別対応ってことで、大筋ではそれなりに効果は、まあ、何もやらないよりは効果があるのかなって感じ。あとは、家庭の学習習慣。先程、自主学習って出てきましたが、今子供たちが求められるって言うのは、課題を解決していく。**自分で課題を発見して、情報収集して、課題を解決していくっていう、知識と知識をつなぐ、生かすって言う方向の力が重要だと**。それが、トッピングしているものだったり、自由課題って言うもの。まあ、自分で何をやらうと決めてやることだったり、トッピングって言うのは、宿題の上に乗せてやるって言う考え方もある。そこら辺の考え方は一つではないんだけど、うまく自分で見つけていくって言うことが大事。

課題を見つけて、情報を収集して、分析して、表現していくと言うサイクル、シンキング・サイクルという本校で研究していることでもありますが、**シンキング・サイクルというものをどうやって植えていくか**。それなしで、「はい、やれ！」って言っても「わかんない」となってしまう。それが求められるようになってくるって言うからにはどうしたらいいのか。やっぱりそれは学校でやることなんじゃない？というのがあります。そこを教えるのが学校の役目になってくる。

ある程度、勉強時間っていうと、これくらいの時間（レジュメ）ってことで。時間には限りがあるので、学校と塾の机のところだけで9年間、それで偏差値が少しよくなったって言うような話も重要だし、この期間にしかできないことを親としてどうやって考えていくか。ここにもあるけど、学校に行っている時間があって、睡眠の時間があって、残り全部をゲームで埋めるのか、机に向かった勉強で埋めるのか。あるいは、地域の何かで活躍させていくのか。そこは親御さんが考えていくところで、学校側が提供したものだけで全部埋めていくって言うのはちょっと違うかなと思います。家庭の状況もあるのだから、学校がどこまで口出していいか。ただ、学校にいる間は、学校でやるべきことをしっかりやらないと。やっぱり、学校で身につくことって大きいなということも確かに感じていて。**休校中の子供たちから失われたものっていうのは、やっぱり学校で身につけていたものだったのかな**。悩ましいんですよ、家庭学習って言うのは。

それじゃ、今度は、オンラインだ何だって話になっていくと、この時間じゃ足りないくらいで。個別に対応したドリル学習なんかは、習熟とか強化に役立つでしょう。でもシンキングサイクルとかにまでICTを活用していくと考えると、そこまでの教材はまだないと思うので、そこまで開発されていないと思うし、それはやっぱり学校でやったほうが早いと思うんです。ああ、ちょっと喋りすぎたかな？

**川中子** はい、わかりました。えー、昨年の学力調査の時にとったアンケートによりますと、放課後、学校以外にどれくらい勉強していますかっていう問いに、全くしないって言う子から4時間以上するって言う子まで分かれています。6年生くらいになると、塾に行っている子も増えてくるのかな、勉強時間も長くなってきています。4、5年生とはちょっと違います。その中で10%くらいは全くしないって答えていて、4時間以上しているって言う子とはやっぱり差がついてくるだろうな、と。

最後の方にオンラインの話も出てきましたが、この休校中にも全国でもオンラインの学習ができたとか、私立ではできたけど、公立はできなかったとか。公立は公立で、結構紹介はしまして、例えば教育委員会もいろんな動画を配信したりですとか、NHKの番組や何かはかなりたくさん配信されていました。ネット環境がないうちでは、3チャンネルとか。ああ、今3チャンネルって言いますね。Eテレとかを利用してということになります。ただ、そういうのも、子供が自分からそういうのを使って勉強をするというのは不可能なんじゃないかと思うんですね。子供は基本的に勉強はあまりしたくないんじゃないか。まあ、私も校長としてこんなこと言っちゃいけないかなとは思いましたが、今回の3ヶ月間も、子供たちが課題をやっているのを見て、よくやっているな！と感心してしまいましたね。やらない子もいるんじゃないかと思ってはいたんですが、保護者の方も必死になってやらせていただいた形跡も残ってまして、特に共働きで平日お家にいない方は土日でも必死に終わらせたと伺っています。

ただこういうオンライン学習って言うのはこれからどうしても必要になっていきますし、それが当たり前になっていくと思います。墨田区もそうですが、全国的にGIGAスクール構想というのが急激に進められてまして、おそらく墨田区では今年度中に一人1台のタブレット端末の配布が行われることとなります。これは、お家に持って帰って、学校に持ってくるって言うものです。じゃ、これがあれば勉強するのか、とか、勉強できるのかって言うのはまた別の問題で、これを使うってことができないとダメなんですね。幸い、第三番小学校では、去年、一昨年と研究を行って2年生以上の子供たちは、もうあれば、普通に使うことはできるようになっています。お家に持って帰らせて、これやるんだよって言えば、うちに帰って一人で開いてできると思います。1年生も今、そういう風にできるようにさせようとしています。そうして、ドリル的な学習については、これからどんどんいいアプリもできてきて、例えば先程漢字の書き順の話が出ていましたが、これに指で書いてみて、自動的に丸とかバツとか採点もしてくれて、書き順も教えてくれるようなものは出てきます。計算問題なんか、何問かやると、この子の苦手なところはどこかというのをAIが判断して、その子にあった問題を出してくれて、その採点はもちろん、学習状況の変化なども自動的に分析してくれるようになります。それを見て先生はよく頑張ってるね、とか、次も頑張ろうねって言う時代

はもうそこまできています。これは時代に合わせて私たちもまた一生懸命やっていかなければいけないかなと思っています。

最後に、子供たちが家庭で学習するのが一番いいんですけど、今お話に出てきたように、学校から出されたものはやるけれどそれ以上のことはなかなかできないというんですが、今O先生の話にもありましたが、これからの時代は自分で学ぶべきものを見つけて、そしてそれを探求していくような子供になっていかないといけないかなと、そういう力が求められているんですね。そこで、学校の宿題の出し方もちょっと考え直さなければならないと思っているんです。ある人と言わせると、学校の宿題があるから子供は勉強が嫌いになるなんていう説もありまして、「宿題やりなさい」って言うのと「ヤダー！」って、うちでもそういうことがありました。自分でやる子もいたんですが、一人の娘は、もう2時間でも3時間でも泣いてましたからね。妻がノイローゼになったりして、「あんた、先生なんだから何とかして」とか言ったりして。勉強もそうですが、やる気スイッチ、とか塾なんかでよく見ますけど、勉強ってやり始めてみると結構できるんですよ。初めの5分くらい、いやでも取り組んでみると、引き込まれていって。そういう癖がついていくといいんですが、そこまでいくのも結構ハードルが高くて大変です。

まあ、お家にいる時間って言うのは、学校が例えば3時半くらいに終わって、寝るのが9時くらいがいいと言ってますが、お子さんたちは何時くらいに寝てますでしょうか？それから、休日ですと、朝起きてから夜寝るまでの時間、おうちで過ごしている。この時間に子供がどれくらい学習するのか、それから、学習以外の何をするのかって言うのは親としても非常に気になる場所だと思うんですけど。今一番、休校中も心配だったのが、YouTubeを見ていていうやつですよ。ずーっと動画を見ていて。勉強しなさいって言うのと怒るという心配が保護者から寄せられていました。それとか、兄弟喧嘩をしているというのが非常に多かったですね。

さっきお話を伺った限りでは、私たちが子供の時代はまだ素朴な感じが残っていて。今、子供たちはどうですか？だいたい、いろんなことが変わってきて、安全面の心配があったりですとか、夏になると暑すぎ外に出られないですとか。私たちが子供の時は状況が変わってきているかなと思います。そういう風に考えていくと、**塾にでも行かせて、少しでも有意義な時間を過ごさせた方がいいんじゃないかと考えることがあります**。自分はあまり勉強しなかったのに子供には勉強してほしいって、親としてはまあ思うんですよ。それでまあ塾に行くと、塾に行けば勉強になるんじゃないかと。確かに、塾に行くと一生懸命勉強している子もいて、特に中学校受験を考えている子は、それが一つのその子たちの少年時代になっているのかなとは思いますが。それが悪いとは言わないんですが、ちょっと私たちから見ると、塾とか習い事とかが過剰だなと思うお子さんもちらほらいますね。例えば、具合悪そうなお子さんがいて、どうしたのって聞くと、昨日塾から帰ってきたのが11時半になってそれから宿題やって12時に寝ましたなんていう。必死に受験勉強している子はそういうのが当たり前になっていたりして、まあ大学受験ならいいですけど、小学生の中学受験では、生活に影響を及ぼすやり方、体の成長という点からも心配になりますね。

塾はいかれていますか？お子さんは？

**皆さん** …。

**川中子** ああ、ちっちゃいお子さんはあまり行っていないかもしれませんね。

**Gさん** 公文式は行ってます。

**川中子** 公文式ですね。公文式のように、一つ一つステップを上げていく勉強というのも有効な勉強だと思いますね。今、3年生のお母さんが多かったですが、これから4年生、5年生となっていくと、やっぱり塾は必要でしょうか？

**Cさん** **本人のやる気次第**。ただ入れるだけじゃ、本人がやる気がなければ意味がないと思います。ただ無闇にお金を払ってるだけって、私は思ってしまうので。できれば学校で、学習がちゃんとできるようになればいいと思いますけど。いやいや行かせるのでは。やっぱり小学生のうちにはたくさん遊んでっていうのがいいと私は思います。子供を見ていて。無理やり押し付けてしまうと、逆効果になってしまったり、やっぱり本人がやりたいって思った時にやらせてあげる。私もちょっと悩みますけど。周りが皆さん、塾行かれてる方がすごく多いので、うちは上のお姉ちゃんも下の子も入れてないの。不安ですよ。大丈夫かな、うちはって言うのが。入れれば正解かな、って言うのはちょっとわからないですね。本人次第って言うことですね。

**川中子** そうですよ。 (Iさんが参加)今日は、Iさんは、(アメリカから)こっちに帰ってきた時何歳でしたっけ？

**Iさん** 11ですね。

**川中子** 5年生ですね。こっちに帰ってきた時、塾とかは行きましたか？

**Iさん** 行ってないですよ。

**川中子** 行ってない。大丈夫ですね、塾行ってなくても！

うちの子は、塾は行ってなかったですね。県立高校行って、国立大学に入りましたね。まあ、夏期講習とかは行ってましたね。4人いますので。一番目は自分でよく勉強するので大丈夫でした。二番目は違うコースへ行ったので勉強はあまり関係なかったです。三番目が、さっきぎゃーって泣いたって言う子でしたから大変でしたが。四番目は今高校3年生で今年受験です。O先生のところと一緒に。O先生のところは塾行ってますか？

**O先生** うちのせがれですか？うちは行ってないです。

**川中子** まあ、塾よりすごい先生がいるんですからね！（羨ましい！）O先生は、お子さんの受験攻略の作戦を立てて、合格させたんですよ。

**O先生** **目的が、大事で**。うちの子は私学だったんですけど、中学入ったら野球をやらせようかなと思っていて、その野球部に入るために、私学に入らなければいけないかなと思っていて。いわゆる「底辺校」なので。(いえいえ！)私学に行って金払うメリットがあんまりない。だからせめて特進コースに行けば少しは勉強する環境が整うかなと思って。それ位の点数が取れるくらいの勉強を教えようかなと思ったのが、

小学校の時。だから、進学のとれくらいの学校行って何させたいのかっていうのははっきりさせておかないと。まあ、塾に行くと、ちょっとでも偏差値のいい学校へ行くように仕向けられるので、子供たちも親もいっぱいすり減っていく様子をこれまでいっぱい見てきて。そうでなければ、私学の受験だって、目標がはっきりしていればそれなりっていうこともあるし。あるいは、中高一貫校って言うても、その先また受験があるから。そこで高校まで行った時に潰れちゃしようがないよって。目的を持って選んであげないといけない。もし4大つきの、中高大で名前が知れたようなところに行くのは、入るのが大変だけど、そこまで行くと親が安心って言うことができます。本当に子供が望んでいるかどうか、って言うのもあるのはある。そこはよく考えなければと思います。**親が安心したいだけ、**ってことになっちゃいます。

川中子 親が安心したい。そうですね。親が安心するんですよ。家庭学習もやってくると親が安心する。だいたい、勉強しなさいって言われるのは子供には嬉しくないこと。「今やろうと思ってたのに！もうやる気なくなっちゃった。」って、皆さんも経験がありますよね？絶妙のタイミングで親も言うし、子供もやらなければいけないと言うことはわかっていますからね。ただ、私たちが望んでいるのは、例えばこの間の「調べる学習コンクール」ですか。夏休みの課題でやってきた自主学習ですが、ああ言うのはとても素晴らしいですよ。自分で課題を見つけて、本やインターネットを活用して情報を収集して、それをまとめる。中には、取材をする子もいます。やれって言われてやるのではなく、自主的に進めていること。子供の課題ですが、親も一緒にやって取り組んだと言う物凄い作品もたくさんありました。ああ言うようなことというのが、もし、日常的にできていたらおもしろんじゃないかなと思うんですよ。例えば、虫が好きな子は虫の研究をするとか。虫を飼っているだけじゃなくて、観察日記見たいのをつけて見て、こっちの餌は食べただけどこっちは食べなかったとかやっていって、それを先生が見て、「すごいね。すごい研究だね。」なんて褒めてもらえたとしたら、その子は勉強の楽しさっていうのを知っていくんじゃないかなと思います。そういうように、興味関心を育てていって、そのために何をすれば研究できるっていうことを知らせていかなければいけない。今、学校ではそのための方法、つまり**勉強の仕方、学び方というのを授業を通して子供たちに身につけさせようとしています。**昔は、知識をいっぱい詰め込むことに一生懸命だったんですよ。そして、そういう知識をいっぱい持っている子、暗記力の良い子っていうのが成績のいい子だったんですが、今はスマホもコンピュータもありますから、知識そのものはちょっと調べればすぐに出てくるわけで。今はその知識をどういう風につなげていって、問題を解決していくかっていう力をつけさせたいと考えています。それはこれからの時代に必ず必要になってきますよね。そう考えると、今どういう勉強をしていくのが大事なのかな？今、学校もわからないんです。それで今日はこの話を皆さんと一緒に考えていきたいと思ったんです。家庭での様子をお聞かせいただきながら。で、学校は学校でやるべきことを一生懸命進めていかなければいけませんから。先日7月の終わりにやった学力調査の結果が来週には戻ってくるんですが、本校はここ数年順調に上がってきていたんですが、それが去年ちょっと下がってしまった。それが結構大問題になっていまして。今年それがどうなっているか。まあ、テストの点数だけで全てが測れるわけではないんですが、テストの点数で測れる部分もあるわけです。点数はどうでも良いんだとは思っていないんですよ。点数は高いに越したことはない。子供も自信をつけますし。嬉しい気持ちにもなります。そういう力もつけていきたいんですが、もっと先を見て、子供たちがこれから一人で生きていくために、自立していくために必要な力を身につけるための学び方を身につけるための学校での勉強であり、家庭学習であります。

結論が出ない話で申し訳ないんですが、これからも一緒に考えていただけたらと思います。最後にO先生から、一言お願いします。

O先生 最初に行っちゃった「結論がない」って話ですが、でも見つけていかなければならない。でも、**学校ってすごいですよ。子供たちが学校に来ているってだけで成長しているってことが、この休校があったお陰で見えてきました。**家庭でできたことと、学校でできることの違いは何かって考えてみると少し答えが出てくるかもしれません。学校でやってきていたことが見えてくると、家庭にお願いすることもわかるかもしれない。とにかく学校はいろいろやっていましたから。相乗的に、結果的にいろんな力が身につけてきていた。そこを整理できたら。1年、2年での課題ではないと思います。その視点でこの状況を我々も解決していけたらと思います。

川中子 今日は難しい話題でしたが、何より子供たちが元気に育ってほしい。私は新しい教育目標にある「**自立、共生、健康**」を**小学校卒業までに身につけてもらえれば、一生しっかりと生きていくことができますと考えています。**一生生きていくのに困らない力を「自立、共生、健康」の中で育てていきたいと思っています。家庭にお願いすることもありますけれど、家庭にこれこれを教えてください、っていうことはお願いしませんので。見守っていてください、というお願いはさせていただきます。そして、協力して、子供たちがすくすくと育つことを見守っていききたいと思っています。今日はどうもありがとうございました。